

# 神 殿

## 第一 神 殿 (ソロモン神殿)

BC1000年頃、イスラエルの二代目の王ダビデ（在位：BC 1010～970頃）が建設を計画し、その息子のソロモン王（在位：BC 971～BC 931頃）によってエルサレム旧市街、神殿の丘に建設された神殿（ソロモンがイスラエルを支配してから4年目に建設を始め7年後に完成した）。

BC 587/586年、バビロン（バビロニア軍）のネブカドネツアル二世がエルサレムを占領（エルサレム攻囲戦）、ユダヤ人はバビロンに捕囚となり、神殿も破壊された。

## 第二 神 殿 (エルサレム神殿、ヘロデ神殿) →ヘブライ語で「ヤハウエの家」と呼ばれた。

BC 539年頃、ペルシアのキュロス二世がバビロンを占領、バビロンに捕囚となっていたユダヤ人は解放され、帰国と神殿の再建を認めた。バビロンのネブカドネツアル二世によって破壊されたソロモンの第一神殿に代わって、BC 515ーダレイオス王の治世第六年（BC 516年）ーに、ゼルバベルの指揮でエルサレムの神殿の丘に建設された神殿（近隣の民による絶えざる妨害により、神殿再建の事業はBC 536年から520年まで中断を余儀なくされた→エズラ記4：4～5、6：14～15）。

後、ヘロデ王（在位：BC 37年～BC 4年）がBC 20年から増改築工事を開始し、AD64年によりややく完成した（完全改築に近い形で大拡張された）ことから、**ヘロデ神殿**とも呼ばれる。AD 70年、ローマ軍によって破壊され、現在は「嘆きの壁」と呼ばれる外壁の一部が残っている。

AD 7世紀末には、この地にイスラム教のモスク（アクサ・モスクおよび岩のドーム）が建てられた。

## 第三 神 殿 (未完成)

ユダヤ人がエルサレムの「神殿の丘」に再建しようとしている神殿。

**【参考】** 岩のドームは、イスラム教最大の聖地メッカのマスジド・ハラームの中心部にある「カアバ」、「預言者のモスク」（サウジアラビア西部の都市メジナにあるイスラム寺院）に次ぐ、東エルサレムにあるイスラム教の第3の聖地で、イスラム教徒の管理下にある。

南西の壁の外側の一部だけが**嘆きの壁**としてユダヤ教徒の管理下にある。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教にとって重要な関わりを持つ聖なる岩（Foundation Stone）を祀っている。

